

小学校 社会科

1 改訂の趣旨及び要点

目標の改善

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会を主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な**公民としての資質・能力**の基礎を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能の習得

地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して**社会生活について理解**するとともに、様々な資料や調査活動を通して、**情報を適切に調べまとめる技能**を身に付けるようにする。

思考力・判断力・表現力等の育成

社会的事象の特色や相互の関連、意味を**多角的に考えたり**、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて**社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力**を養う。

学びに向かう力・人間性等の涵養

社会的事象について、**よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度**を養うとともに、**多角的な思考や理解を通して**、地域社会に対する**誇りと愛情**、地域社会の一員としての**自覚**、我が国の国土と歴史に対する**愛情**、我が国の将来を担う国民としての**自覚**、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての**自覚**などを養う。

内容構成の改善

現行学習指導要領

学年	項目	学年	項目
3年 及び 4年	・身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	5年	・我が国の国土の様子と国民生活の関連 など
	・県の地形や産業、県内の特色ある地域 など	6年	・我が国の歴史上の主な事象 など

○現代的な諸課題を踏まえる観点、持続可能な社会づくりの観点から、内容の充実が図られました。

○中学校への接続・発展を視野に入れて、内容について

- ① **地理的環境と人々の生活**
- ② **歴史と人々の生活**
- ③ **現代社会の仕組みや働きと人々の生活**

に、区分して整理されました。
今、指導している内容が、どこにつながっているのかを見通すことが大切です。

- (例)
- 3年(4)市の様子の移り変わり
 - 4年(4)県内の伝統や文化、先人の働き
 - 6年(2)我が国の歴史上の主な事象

新学習指導要領

学年	項目と主として区分される番号	学年	項目と主として区分される番号
3年	(1)身近な地域や市区町村の様子 ①	5年	(1)我が国の国土の様子と国民生活 ①
	(2)地域に見られる生産や販売の仕事 ③		(2)我が国の農業や水産業における食料生産 ③
4年	(3)地域の安全を守る働き ③	6年	(3)我が国の工業生産 ③
	(4)市の様子の移り変わり ②		(4)我が国の産業と情報のかかわり ③
	(1)都道府県の様子 ①		(5)我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり ①
	(2)人々の健康や生活環境を支える仕事 ③		(1)我が国の政治の働き ③
	(3)自然災害から人々を守る仕事 ③		(2)我が国の歴史上の主な事象 ②
	(4)県内の伝統や文化、先人の働き ②		(3)グローバル化する世界と日本の役割 ③
	(5)県内の特色ある地域の様子 ①		

※今回の改訂では、第3学年と第4学年の目標と内容が分けて示されました。

2 小学校社会科における授業づくりのポイント

ポイント①：「社会的な見方・考え方」を意識した「問い」の設定

「社会的な見方・考え方」を働かせて学ぶことができるような「問い」を設定することが大切です。

社会的な見方・考え方

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して、社会的な事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること

○児童が次の視点で調べて、様子や現状を捉えられるよう、「問い」を設定しましょう。

【位置や空間的な広がり】（例）どのような場所にあるか、どのように広がっているかなど、分布、地域、範囲を問う視点

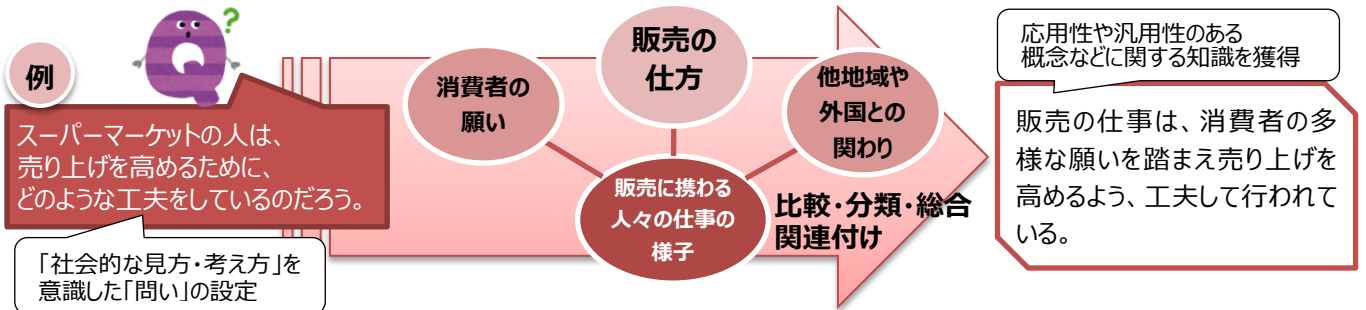
【時期や時間の経過】（例）なぜ始まったのか、どのように変わってきたのかなど、起源、変化、継承を問う視点

【事象や人々の相互関係】（例）どのようなつながりがあるか、なぜこのような協力が必要かなど、工夫、関わり、協力を問う視点

○児童が次の方法で考えたり、選択・判断したりする「問い」を設定しましょう。

【比較・分類・総合】（例）どのような違いや共通点があるかなど、比較・分類したり総合したりする方法

【関連付け】（例）どのような役割を果たしているかなど、地域の人々や国民の生活と関連づけたりする方法



ポイント②：課題を追及したり解決したりする活動の充実

資質・能力を育成するためには、課題を追及したり解決したりする活動の充実が求められます。また、資質・能力は、習得した知識や技能を活用して、調べたり思考・判断したり表現したりしながら課題を解決する一連の学習過程において、育成されるものと考えられます。ここでは、主体的・対話的で深い学びが実現されるよう、児童が社会的な事象等から学習問題を見だし、問題解決の見通しをもって他者と協働的に追及し、追及結果を振り返ってまとめたり、新たな問いを見いだしたりする方向で充実を図っていくことが大切です。

	課題把握		課題追及		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習課題を設定する <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象等を知る ・気付きや疑問を出し合う ・課題意識を醸成する ・学習課題を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決の見通しを持つ <ul style="list-style-type: none"> ・予想や仮説を立てる ・調査方法、追究方法を吟味する ・学習計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 予想や仮説の検証に向けて調べる <ul style="list-style-type: none"> ・学校外での観察や調査などを通して調べる ・様々な種類の資料を活用して調べる ・他の児童と情報を交換する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会的な事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する <ul style="list-style-type: none"> ・多面的・多角的に考察する ・話し合う（討論等） ● 社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する <ul style="list-style-type: none"> ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 考察したことや構想したことをまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を振り返って結論をまとめる ・結論について他の児童と話し合う ・学習課題についてレポートなどにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習を振り返って考察する <ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る ・学習成果を学校外の他者に伝える ・新たな問い（課題）を見出したり追及したりする

※具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の充実

実物や本物を直接見たり触れたりすることを通して社会的な事象を適切に把握し、具体的、実感的に捉えることができるようにすることが大切です。また、調べたことを基にして思考・判断したことを表現する力を育てることも大切です。

※言語活動に関わる学習の充実

社会的な事象の特色や意味、社会に見られる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりすることが大切です。